

神戸市会「定数65」可決

東灘、北、垂水、西区で1減

来春選挙から

神戸市会の6月定例会が13日開会し、市会の議員定数（現行69）を4減の65とする議員提出議案を可決した。来春の市議選から、東灘区、北区、垂水区、西区がそれぞれ1減となる。市会の定数削減は3議席を減らした2006年以来。

自民党と公明党、立憲民主党、国民民主党・友愛、共創・国民民主の5会派などが提案。理由については、人口規模に近い他の政令市に比べて議員数が多いとして「9減を目指す」が、段階

的に削減する」とした。

人口比に合わせ、4選挙区の定数を各1減。全体では、東灘区〓9（1減）▽灘区〓6▽中央区〓6▽兵庫区〓5▽北区〓9（1

減）▽長田区〓4▽須磨区〓7▽垂水区〓9（1減）▽西区〓10（1減）―となる。

一方、日本維新の会が9減案を、共産党とつなぐの一部議員が1増1減案を提出したが、いずれも否決された。（三島大一郎）